

装具士： _____

会社： _____

顧客番号： _____

日付： _____

患者の個人データは、注文処理と統計学的評価のために保管・使用されますのでご了承ください。装具の荷重容量の計算は、ここに記入されたデータに関連付けて行われます。このデータは、装具を利用しているうちに変わることがあります。この装具療法シートに記入する際は、今後考えられる変化を考慮に入れてください（例：体重変化、筋肉強度の成長や変化）。

患者データ

氏名

生まれた年

体重

脚

性別

身長

左右の足で以下の点が異なっている場合は、装具療法シートを2枚使用してください。

女性

男性

その他

kg

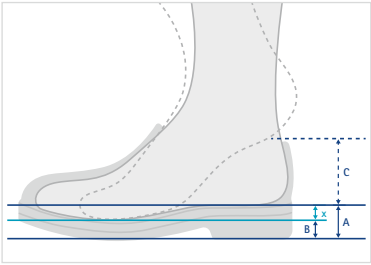
cm

左脚

右脚

靴の測定

靴サイズ (EU) (足の寸法 + 1.5cm) x 1.5



踵高さ (A)

mm

ピッチ (x = A - B)

mm

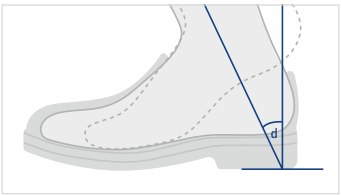
靴底厚さ (B)

mm

高さ補償 (C)

mm

上側足関節の運動範囲



背側

底側

○

○

アムステルダム式歩行分類による歩行タイプ

歩行タイプ	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4	タイプ5
膝関節	正常	過伸展	過伸展	屈曲	屈曲
足の接地	完全	完全	不完全	不完全	完全

活動レベル



1. 屋内歩行

FIOR & GENTZ分類の活動レベル1は、GMFCS分類のレベルIV、FMS分類のレベル2に相当する。それぞれの分類レベルの詳細は以下の通り。

GMFCSレベルIV: 患者は、補助具を使用した場合のみ歩くことができる。患者は歩行器を使って、他の人の介助なしに歩くことができる。階段を上る際は手すりにつかまる必要があり、他の人の介助を必要とする。デバイスを用いた場合のみ、長い距離を歩くことができる。

FMSレベル2: 患者は、他の人の介助なしに歩くには、装具に加え歩行器も使う必要がある。



2. ある程度の屋外歩行

FIOR & GENTZ分類の活動レベル2は、GMFCS分類のレベルIII、FMS分類のレベル3に相当する。それぞれの分類レベルの詳細は以下の通り。

GMFCSレベルIII: 患者は、補助具を使用した場合のみ歩くことができる。患者は杖を使って、他の人の介助なしに歩くことができる。階段を上る際は手すりにつかまる必要があり、他の人の介助を必要とする。デバイスを用いた場合のみ、長い距離を歩くことができる。

FMSレベル3: 患者は、他の人の介助なしに歩くには、装具に加え杖も使う必要がある。



3. 無制限の屋外歩行

FIOR & GENTZ分類の活動レベル3は、GMFCS分類のレベルII、FMS分類のレベル5に相当する。それぞれの分類レベルの詳細は以下の通り。

GMFCSレベルII: 患者は多くの場合、追加のデバイスなしに歩くことができる。階段を上る際は片手で手すりにつかまる必要がある。走ったり、ジャンプしたり、長距離や凹凸のある地形を歩いたり、混雑した中を歩いたりするのは難しい。

FMSレベル5: 患者は、装具に加え、他のデバイスか他の人の介助を必要とする。階段を上る際は片手で手すりにつかまる必要がある。



4. 特に高強度の無制限屋外歩行

FIOR & GENTZ分類の活動レベル4は、GMFCS分類のレベルI、FMS分類のレベル6に相当する。それぞれの分類レベルの詳細は以下の通り。

GMFCSレベルI: 患者は、追加のデバイスなしに歩くことができる。走ったり、ジャンプしたり、手すりを使わずに階段を上ったりすることが、問題なくできる。

FMSレベル6: 患者は、装具に加え、他のデバイスか他の人の介助を必要とする。患者はさまざまな地形や混雑した中を歩くことができる。

装具の要件



1日当たり歩く階段の段数

< 10 11~50 > 50



患者は、片手で安全にシステム足関節に手が届く。

はい いいえ



1日当たり歩く高低差 (m)

< 10 11~50 > 50

装具データ

患者との面談中のメモ (例えば以前の治療など)
